

第6期横浜市子ども・子育て会議 第9回保育・教育部会  
第34期横浜市児童福祉審議会 第10回保育部会 合同部会

日時：令和6年4月30日（火）19:30～  
場所：市役所18階 みなと6・7会議室

議事次第

1 開会

2 議事

報告＜公開案件＞

【子ども・子育て会議】

- (1) 「横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」の結果について

議事＜非公開案件＞

【児童福祉審議会】

- (2) 保育所の認可及び内装整備費補助金交付先法人の審査について

3 その他

4 閉会

〔配付資料〕

資料1 横浜市子ども・子育て会議保育・教育部会、横浜市児童福祉審議会保育部会 委員名簿

資料2 横浜市子ども・子育て会議保育・教育部会、横浜市児童福祉審議会保育部会 事務局名簿

資料3 「横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」の結果について

**第 6 期横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会**  
**第 34 期横浜市児童福祉審議会 保育部会**  
**委員名簿**

【敬称略 50 音順】

## ＜第 6 期横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会＞

	所 属 ・ 役 職 等	委 員	備考
1	大妻女子大学 家政学部児童学科 准教授	◎石井 章仁	
2	東京成徳短期大学 幼児教育科 教授	大澤 洋美	臨時委員
3	一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会 会長	大庭 良治	
4	子どもの領域研究所 所長	尾木 まり	臨時委員
5	横浜市 P T A 連絡協議会 副会長	倉根 美帆	
6	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 常務理事・事務局長	斉田 裕史	臨時委員
7	公益社団法人横浜市幼稚園協会 会長	清水 純也	
8	一般社団法人ラシク 0 4 5	天明 美穂	臨時委員
9	横浜障害児を守る連絡協議会 会長	森 佳代子	臨時委員
10	國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 准教授	○山瀬 範子	臨時委員

## ＜第 34 期横浜市児童福祉審議会 保育部会＞

	所 属 ・ 役 職 等	委 員	備考
1	大妻女子大学 家政学部児童学科 准教授	◎石井 章仁	
2	東京成徳短期大学 幼児教育科 教授	大澤 洋美	臨時委員
3	一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会 会長	大庭 良治	
4	子どもの領域研究所 所長	尾木 まり	臨時委員
5	横浜市 P T A 連絡協議会 副会長	倉根 美帆	
6	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 常務理事・事務局長	斉田 裕史	
7	公益社団法人横浜市幼稚園協会 会長	清水 純也	臨時委員
8	一般社団法人ラシク 0 4 5	天明 美穂	
9	横浜障害児を守る連絡協議会 会長	森 佳代子	
10	國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 准教授	○山瀬 範子	

◎：部会長      ○：職務代理者

横浜市子ども・子育て会議 保育・教育部会  
 児童福祉審議会 保育部会事務局名簿

こども青少年局

区分	所 属	氏 名
部長	保育・教育部長	片山 久也
	保育対策等担当部長	渡辺 将
課長	企画調整課長	柿沼 千尋
	保育・教育支援課長	大槻 彰良
	保育・教育支援課人材育成・向上支援担当課長	八木 慶子
	保育・教育運営課長	岡本 今日子
	保育・教育運営課担当課長	齋藤 淳一
	保育・教育認定課長	馬淵 由香
	保育対策課長	安藤 敦久
	保育対策課担当課長	須山 次郎
こども施設整備課長	野澤 裕美	
係長	企画調整課担当係長	生野 元康
	保育・教育支援課 事業調整係長	五十棲 友美
	保育対策課 担当係長	加藤 翔
	保育対策課 担当係長	吉村 歌菜子
	こども施設整備課 担当係長	後藤 崇

## 「横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた 利用ニーズ把握のための調査」結果について

### 1 調査の目的

次期（第3期）横浜市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和7年度～11年度）を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等について、保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。

また、令和5年4月施行のこども基本法をふまえ、計画策定や施策の推進に子どもの意見を反映することを目的に、子ども本人に対するアンケートも行いました。

### 2 調査の種類

(1) 未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ把握のための調査（以下、「未就学児調査」

(2) 小学生の放課後等に関する現状及び保護者ニーズ把握のための調査（以下、「小学生調査」）※

※：小学生調査では、子ども本人向けの質問を記載した調査票を同封（回答対象はあて名の子どもが小学4～6年生）。小学生調査 65,892 件のうち、あて名の子どもが小学4～6年生は 33,068 件、回収数は 12,445 件（回収率 37.6%）。

### 3 抽出方法・抽出（発送）数

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複がないよう抽出）

- (1) 未就学児調査： 64,416 件  
 (2) 小学生調査： 65,892 件  
 合計： 130,308 件

### 4 設問数等

#### (1) 未就学児調査

大項目	問数
1 子どもと家族の状況	8 問
2 保護者の就労状況	8 問
3 子どもの発達、障害の状況	4 問
4 日中の定期的な教育・保育事業の利用	5 問
5 不定期な預かりや一時預かり等の利用	3 問
6 病気等の際の対応	4 問

大項目	問数
7 地域における子育て支援等	2 問
8 児童発達支援の利用	1 問
9 小学校就学後の放課後の過ごし方	1 問
10 育児休業など職場の両立支援制度	7 問
11 妊娠・出産・子育て全般	24 問
計 67 問	

#### (2) 小学生調査

大項目	問数
1 子どもと家族の状況	7 問
2 保護者の就労状況	4 問
3 子どもの発達、障害の状況	4 問
4 放課後の過ごし方	21 問

大項目	問数
5 病気等の際の対応	4 問
6 子育て全般	21 問
7 子ども本人への質問	5 問
計 66 問	

5 調査実施時期

令和5年10月1日～10月31日

6 回収状況

	今回（令和5年）		〈参考〉5年前（平成30年）	
	回収数	回収率	回収数	回収率
(1) 未就学児調査	33,321	51.7%	28,721	45.8%
(2) 小学生調査	31,938	48.5%	30,738	46.3%
合計	65,259	50.1%	59,459	46.1%

7 調査結果の概要 ※一部抜粋

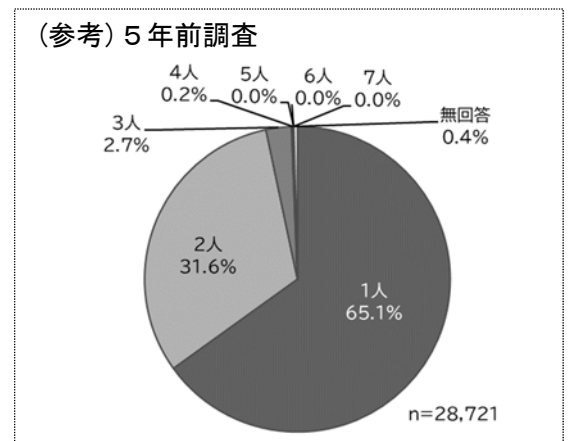
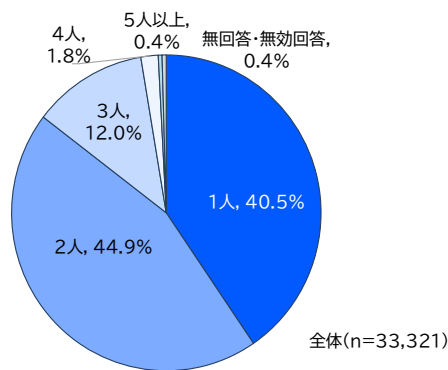
(1) 未就学児調査

ア 子どもと家族の状況

(ア) 子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が44.9%と最も多く、「1人」が40.5%、「3人」が12.0%。

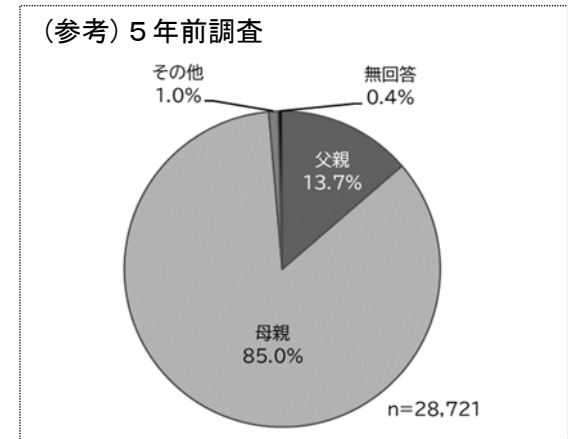
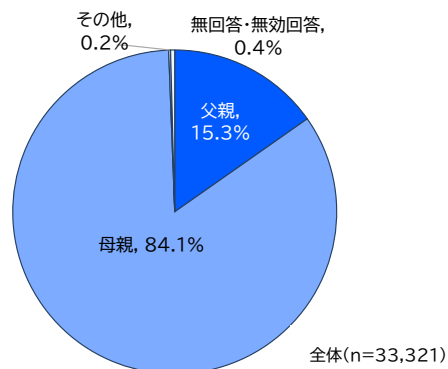
【問3】あて名のお子さんを含めたお子さんの人数は何人ですか。



(イ) アンケート回答者

アンケートの回答者は、「母親」が84.1%、「父親」が15.3%、「その他」が0.2%。

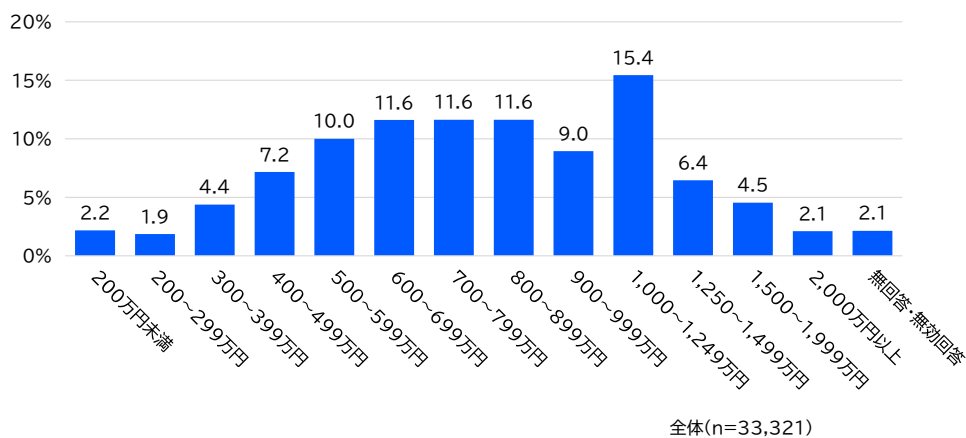
【問4】アンケートにお答えいただく方を伺います。



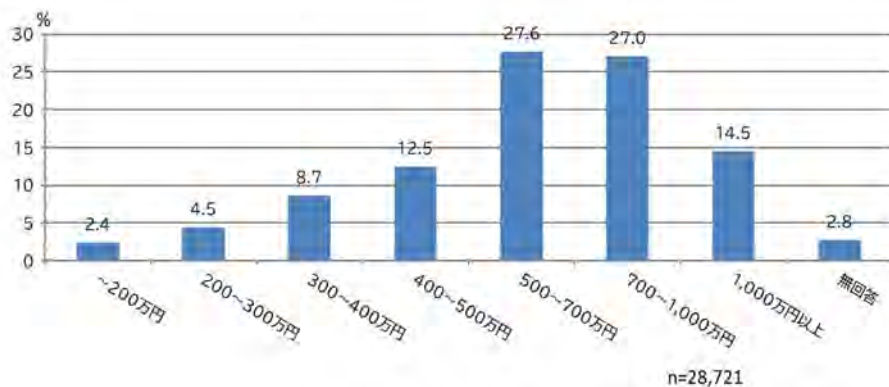
(ウ) 年間収入

年間収入は、「1,000～1,249 万円」が 15.4%と最も多く、「600～699 万円」「700～799 万円」「800～899 万円」が 11.6%。

【問 7】 令和 4 年 1 年間の世帯全体の年間収入（税・社会保険料等控除前）を伺います。



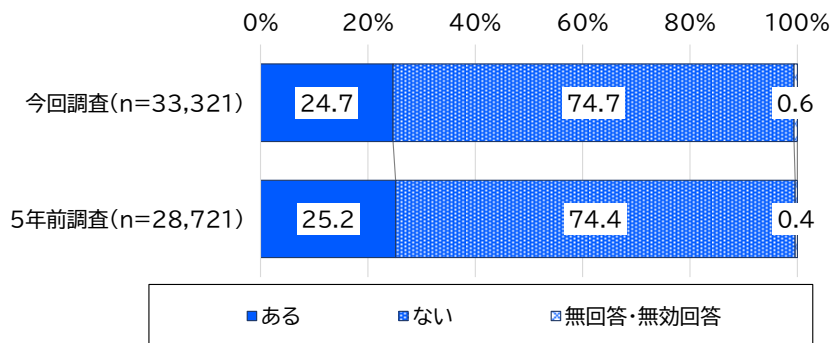
(参考) 5 年前調査



(エ) 赤ちゃんの世話の経験

はじめての子どもが生まれる前の赤ちゃんのお世話の経験は、「ない」が 74.7%、「ある」が 24.7%。

【問 8】 はじめてのお子さんが生まれる前に、赤ちゃんのお世話をしたことがありますか。

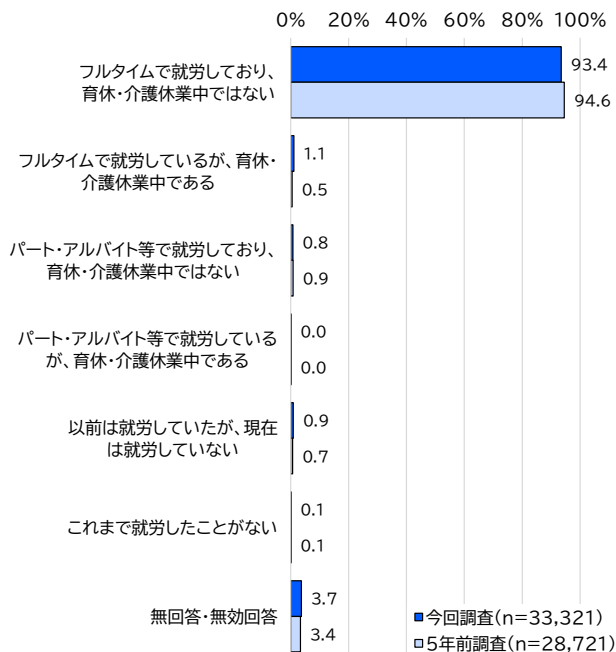


## イ 保護者の就労状況

### (ア) 父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 93.4%と最も多い。

【問9】父親の就労状況（自営業及びその家族従事者を含む）を伺います。

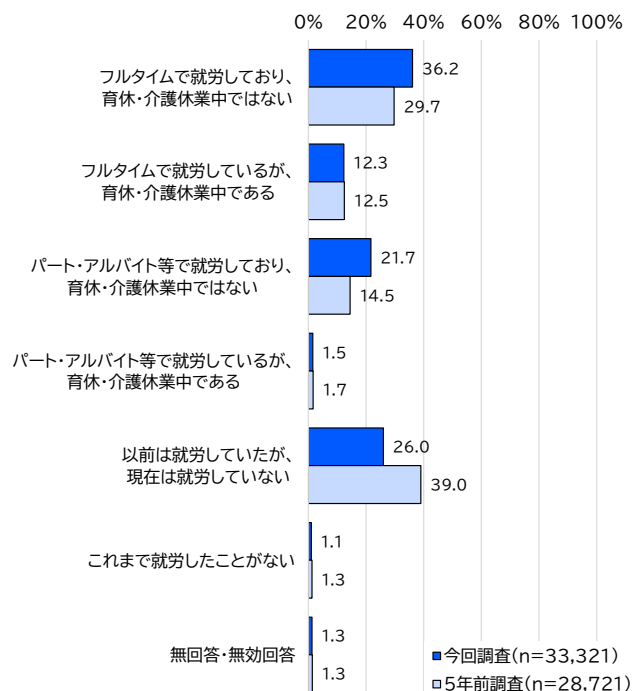


### (イ) 母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 36.2%と最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 26.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 21.7%。

5年前と比較すると、フルタイムやパート・アルバイト等で就労している母親が増加。

【問10】母親の就労状況（自営業及びその家族従事者を含む）を伺います。

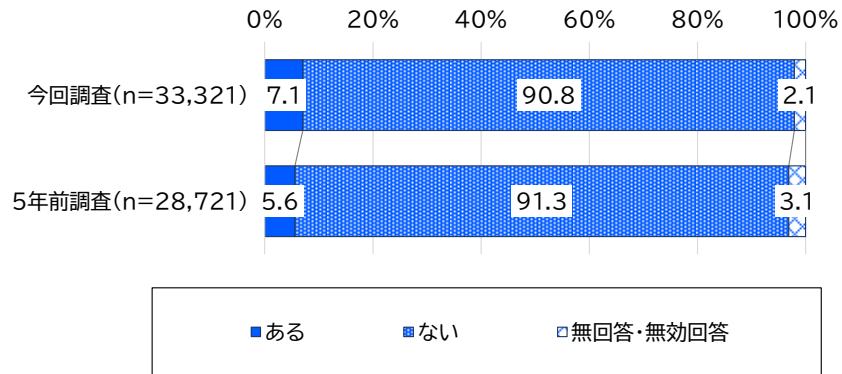


ウ 子どもの発達、障害の状況

(ア) 発達や障害に関する医師の診断

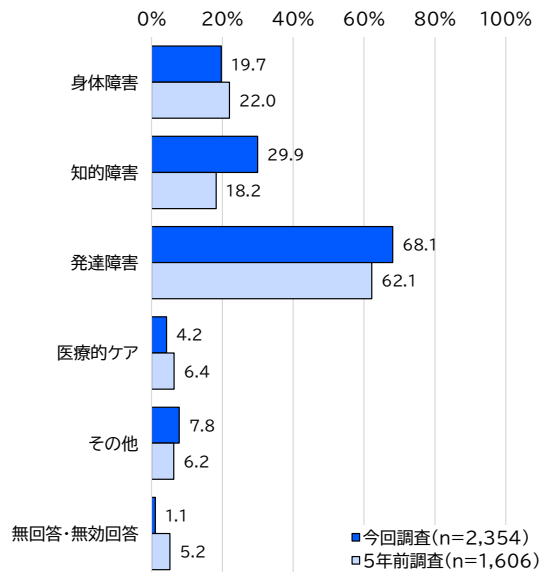
「ない」が90.8%、「ある」が7.1%。  
 「ある」回答した診断内容は、「発達障害」が68.1%と最も多く、「知的障害」が29.9%、「身体障害」が19.7%。  
 5年前と比較すると、診断がある方のうち、「知的障害」、「発達障害」の診断を受けた方が増加。

【問 12】 これまでお子さんの発達や障害に関して、何らかの医師の診断を受けたことはありますか。



【問 12-1】 それはどんな診断ですか。(複数回答)

※発達や障害に関して医師の診断を受けたことがある場合のみ回答



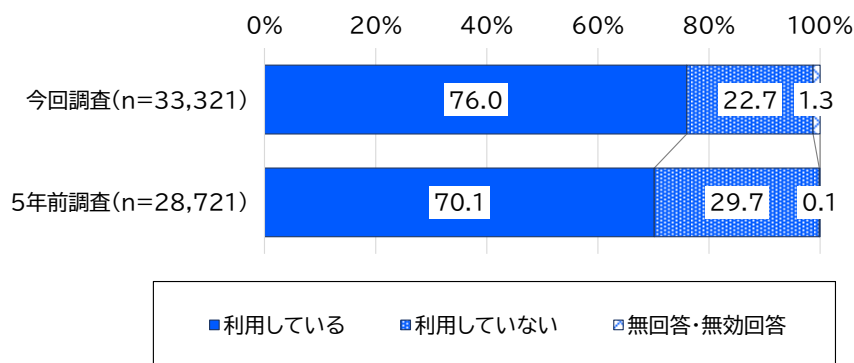


## エ 日中の定期的な教育・保育事業の利用

### (ア) 定期的な教育・保育の利用状況

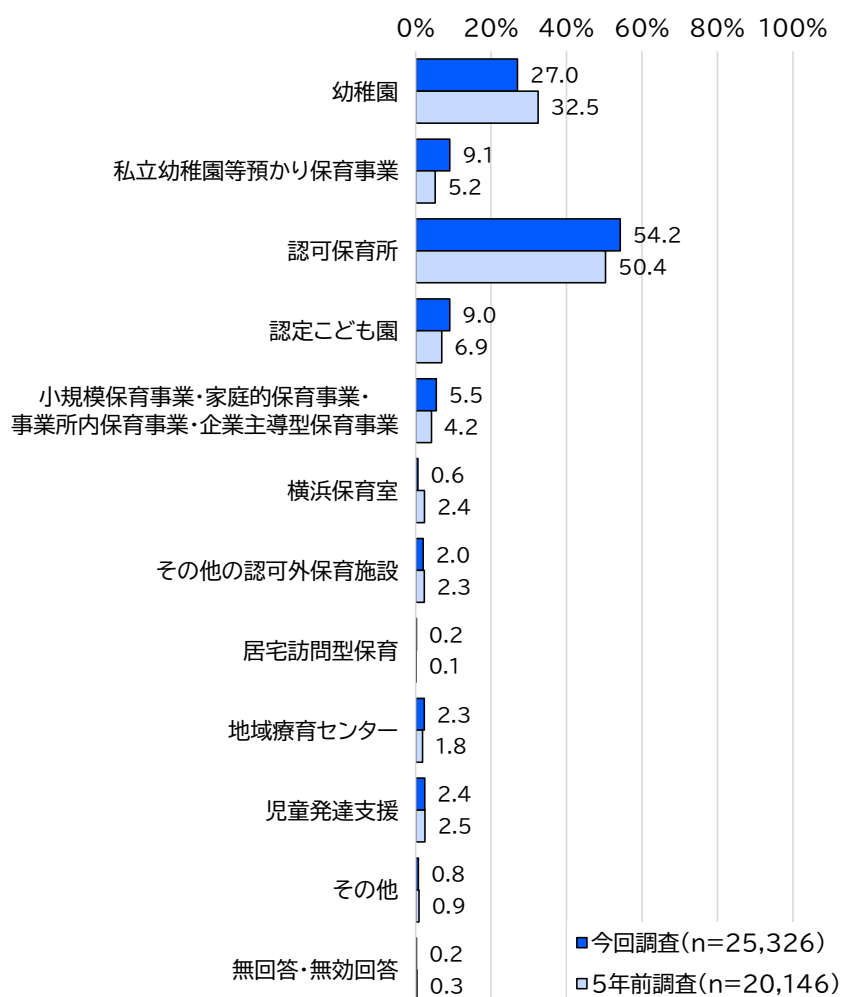
「利用している」が76.0%、「利用していない」が22.7%。  
 1歳以下は定期的な教育・保育を「利用していない」割合が高く、3歳以上は95%以上が「利用している」。  
 利用している教育・保育の事業は、「認可保育所」が54.2%と最も多く、「幼稚園」が27.0%、「私立幼稚園等預かり保育事業」が9.1%。

【問13】あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。



【問13-1】年間を通じて「定期的に」利用している教育・保育の事業をお答えください。  
 (複数回答)

※現在、「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用している場合のみ回答

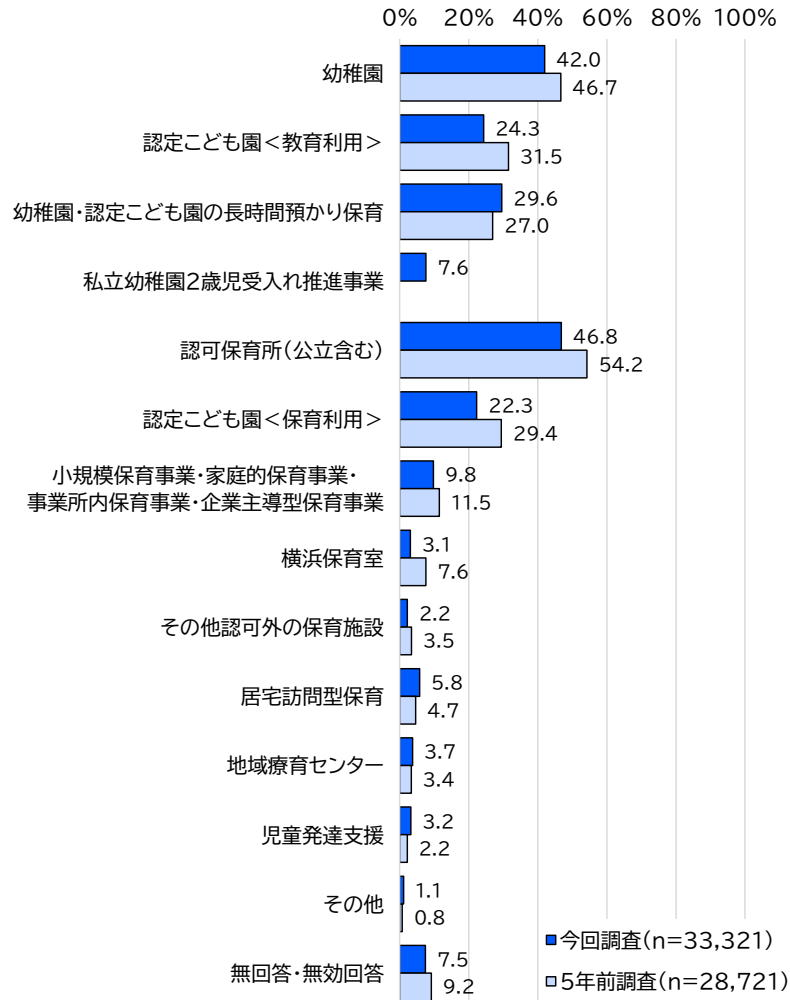


(イ) 利用したい「日中の定期的な教育・保育の事業」

「認可保育所（公立含む）」が46.8%と最も多く、「幼稚園」が42.0%、「幼稚園・認定こども園の長時間預かり保育」が29.6%。

【問14】現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの「日中の定期的な教育・保育の事業」で利用したいと考える事業をお答えください。

(複数回答)



「平日の日中に定期的にご利用したい教育・保育事業」—子どもの年齢別

あて名の子どもの年齢	n=	幼稚園	認定こども園<教育利用>	幼稚園・認定こども園の長時間預かり保育	私立幼稚園2歳児受入れ推進事業	認可保育所	認定こども園<保育利用>	小規模保育事業・家庭的保育事業・事業所内保育事業	企業主導型保育事業	横浜保育室	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域療育センター	児童発達支援	その他	無回答・無効回答
		0歳	5,793	38.7	26.9	27.6	12.9	<b>68.0</b>	<b>38.4</b>	<b>20.4</b>	10.8	7.4	4.5	7.2	1.8	1.2
1歳	5,341	41.1	28.6	29.2	13.6	54.2	28.3	9.2	6.8	3.6	2.8	7.1	1.7	1.2	1.3	6.6
2歳	5,412	42.5	24.8	29.0	7.1	46.2	21.3	5.2	4.7	2.6	1.8	5.9	3.1	2.3	1.0	7.3
3歳	5,648	42.5	22.4	31.0	4.4	39.6	16.5	2.8	3.8	1.8	1.5	6.3	5.1	4.2	1.2	8.6
4歳	5,388	42.4	21.5	30.8	3.6	37.3	14.6	2.4	3.4	1.4	1.6	4.2	6.2	5.8	1.4	8.8
5歳	5,514	44.6	21.6	29.8	3.8	35.0	14.3	2.3	3.1	1.6	1.3	4.1	4.6	4.8	1.1	9.6

※網がけは全体よりも10ポイント以上大きい値を示す。

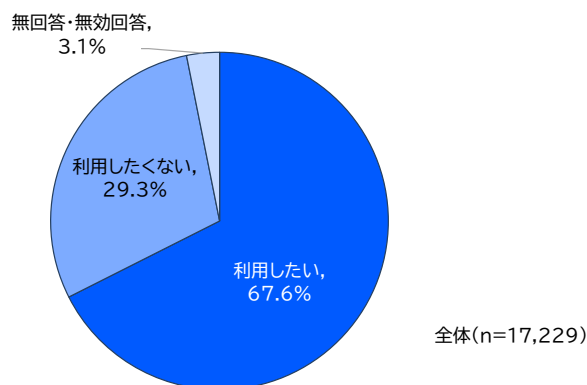
オ 不定期の預かりや宿泊を伴う預かり等の利用

(ア) 幼稚園・認定こども園の在園児対象の一時預かり

利用意向は、「利用したい」が 67.6%、「利用したくない」が 29.3%。

【問 15】幼稚園・認定こども園では、在園児を対象に、保護者の急な用事やリフレッシュなど、理由を問わず利用できる一時預かり保育を実施している場合がありますが、利用したいですか。

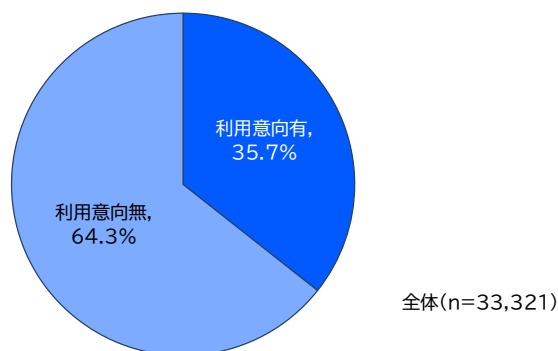
※問 14 で、幼稚園、認定こども園<教育利用>を定期的に利用したいと考える方のみ回答



(イ) 不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かり

不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かり等について、「利用意向無」が 64.3%、「利用意向有」が 35.7%。

【問 16(1)】不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かり等を利用したい日数について伺います。あて名のお子さんについて、これからの1年間の見込みについて回答してください。(数値回答)



※不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かり等を利用したい日数として、「0日」と回答した方または無回答の方を「利用意向無」、それ以外の方を「利用意向有」として集計。

## カ 育児休業など職場の両立支援制度

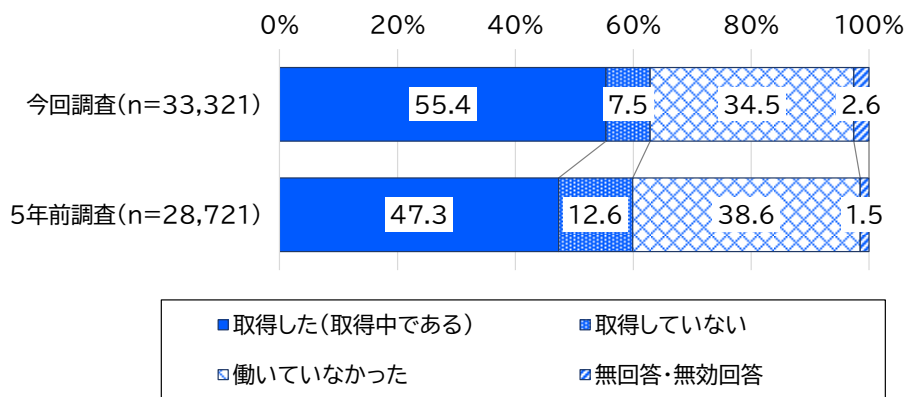
### (ア) 母親の育児休業

育児休業取得有無は、「取得した（取得中である）」が 55.4%と最も多く、「働いていなかった」が 34.5%、「取得していない」が 7.5%。

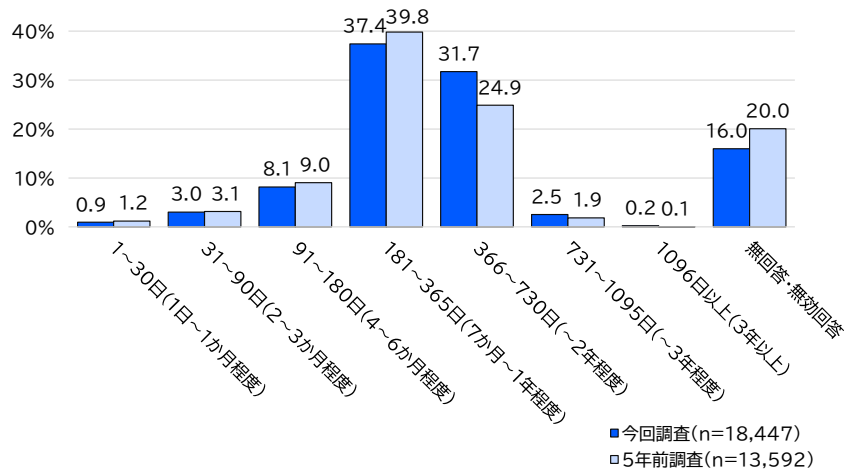
育児休業取得日数は、「181～365日（7か月～1年程度）」が 37.4%、「366～730日（～2年程度）」が 31.7%、「91～180日（4～6か月程度）」が 8.1%。

【問 23】あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。取得した場合や取得中である場合はその日数をお答えください。

#### <取得の有無>



#### <取得日数>

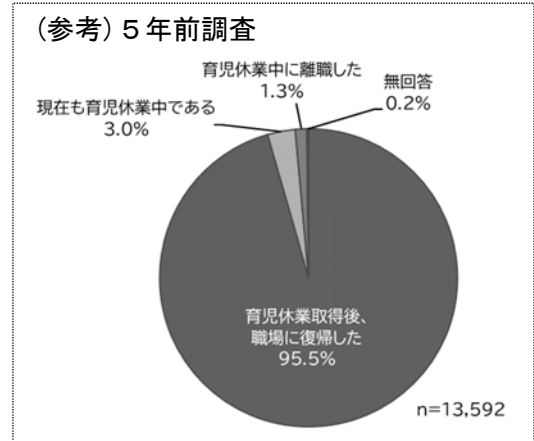
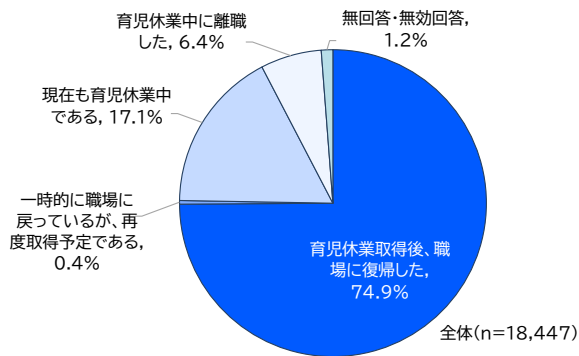


(イ) 母親の育児休業取得後の職場復帰

「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.9%と最も多く、「現在も育児休業中である」が17.1%、「育児休業中に離職した」が6.4%。

【問 24】 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

※育児休業を取得した方のみ回答

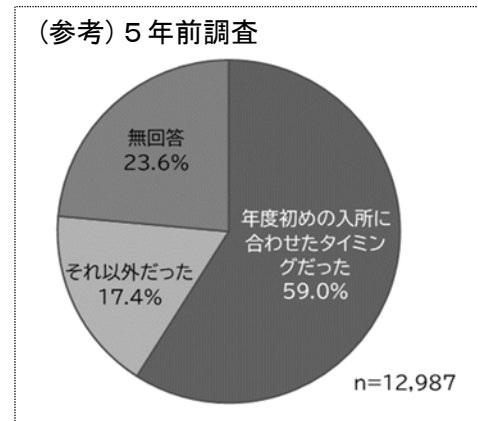
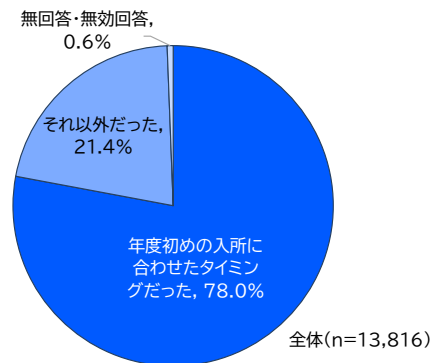


(ウ) 母親の育児休業からの職場復帰が年度初めだったか

育児休業からの職場復帰は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が78.0%、「それ以外だった」が21.4%。

【問 24-1】 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※育児休業を取得後、職場に復帰した方のみ回答

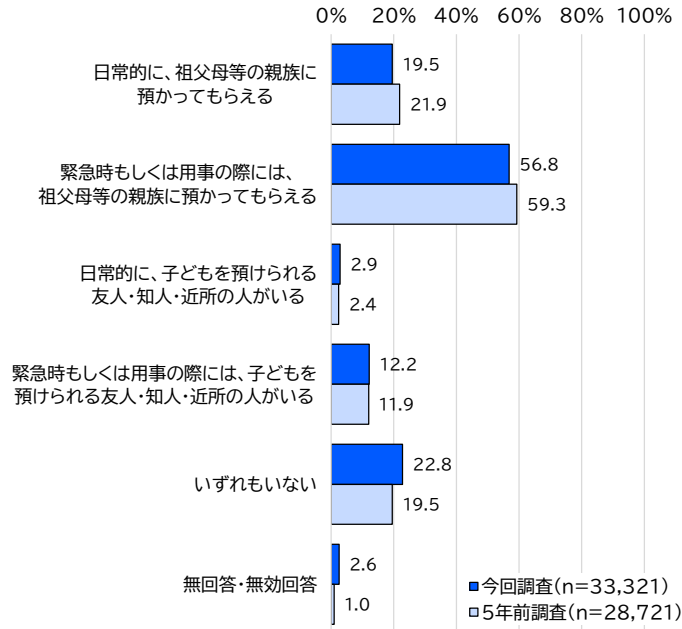


キ 妊娠・出産・子育て全般

(ア) 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.8%と最も多く、「いずれもない」が22.8%、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」が19.5%。

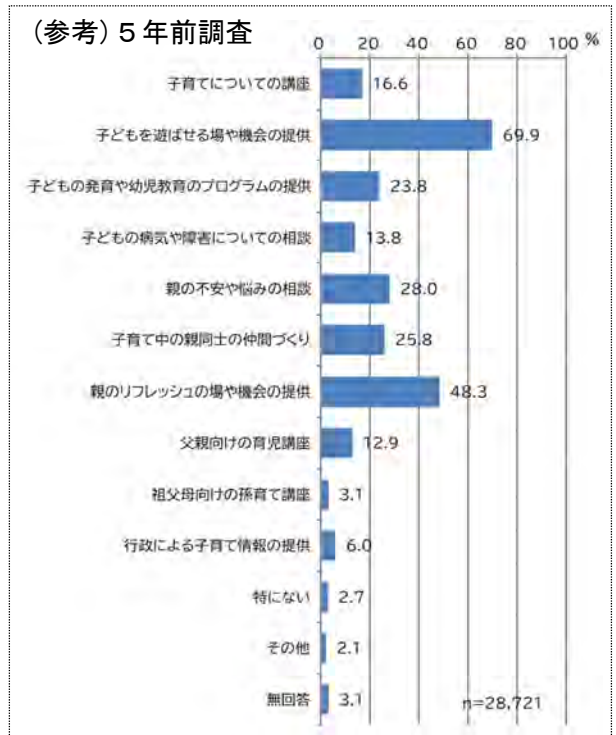
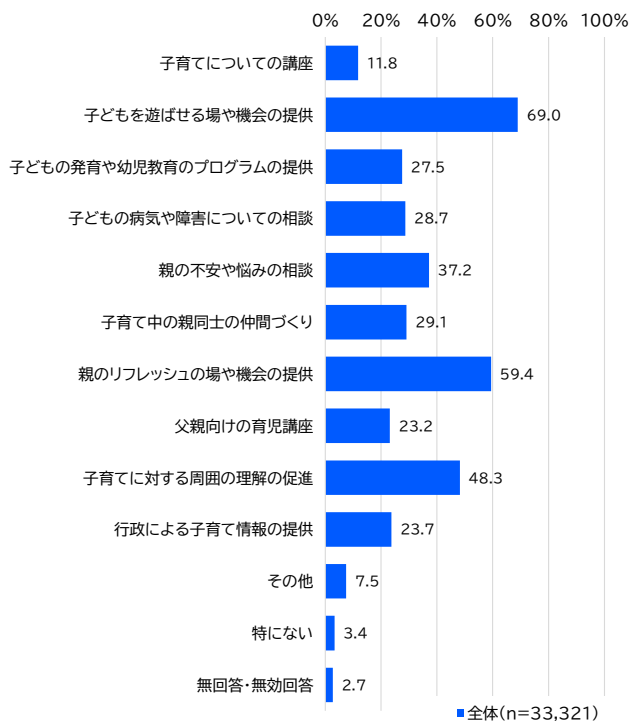
【問28】 現在、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)



(イ) 日常の子育てを楽しく、安心して行うために重要だと思うサポート

「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が69.0%と最も多く、「親のリフレッシュの場や機会の提供」が59.4%、「子育てに対する周囲の理解の促進」が48.3%。

【問29】 次のサポートのうち、日常の子育てを楽しく、安心して行うために重要だと思うものはどれですか。(複数回答)



(ウ) 子育てについて不安を感じたり自信が持てなくなること

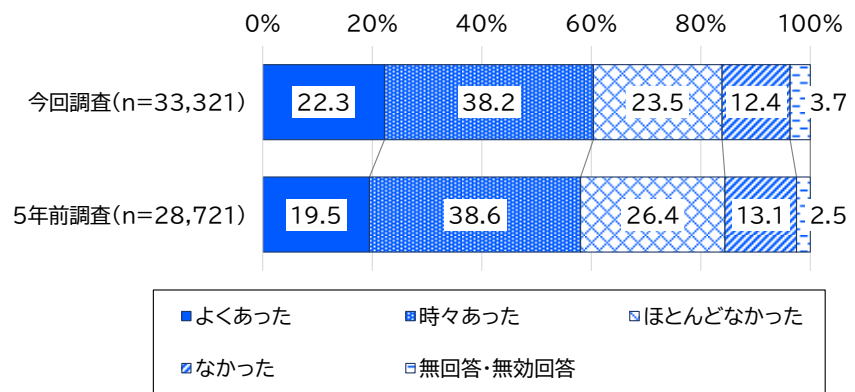
妊娠中では、「時々あった」が38.2%と最も多く、「ほとんどなかった」が23.5%、「よくあった」が22.3%。

出産後、半年くらいの間では、「よくあった」が36.5%と最も多く、「時々あった」が35.8%、「ほとんどなかった」が15.7%。

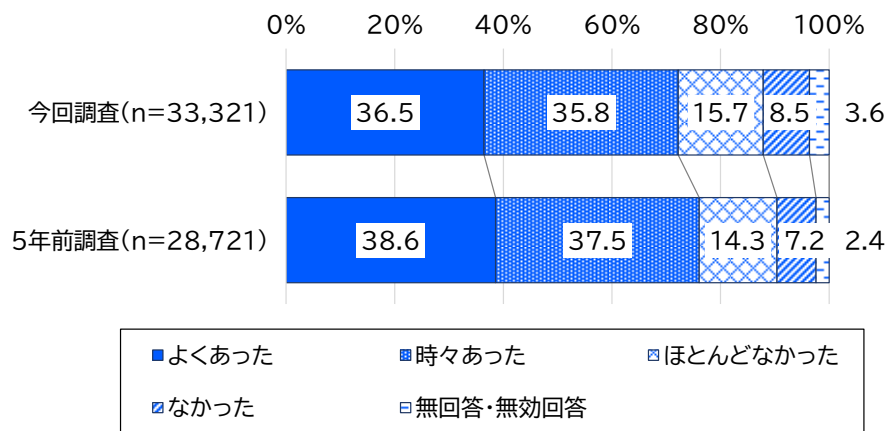
現在は、「時々あった」が43.6%と最も多く、「ほとんどなかった」が26.1%、「よくあった」が14.7%。

【問 30】 妊娠中から現在までで、子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがありますか。

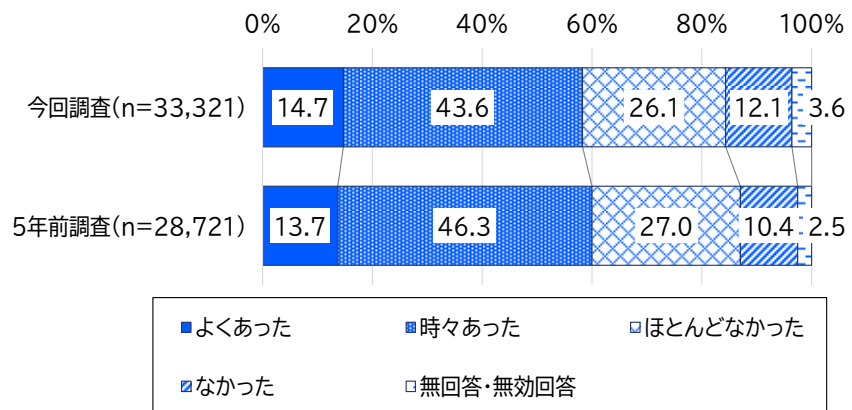
<妊娠中>



<出産後、半年くらいの間>



<現在>

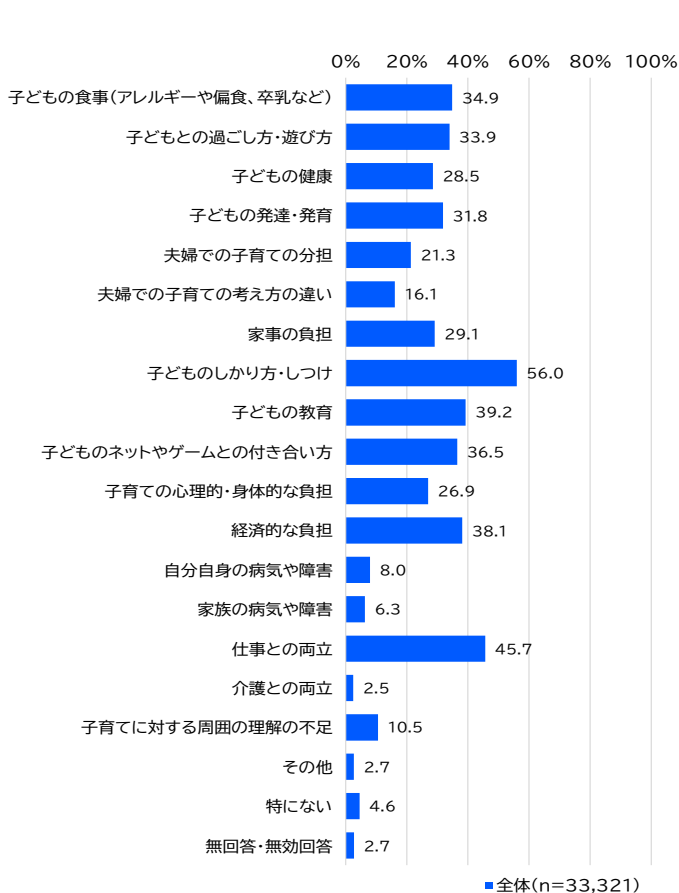




(エ) 子育てをしていて感じている困りごと

「子どものしかり方・しつけ」が56.0%と最も多く、「仕事との両立」が45.7%、「子どもの教育」が39.2%。

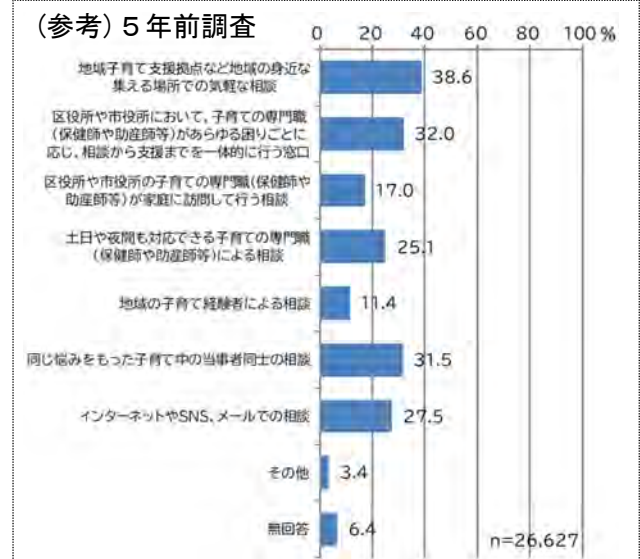
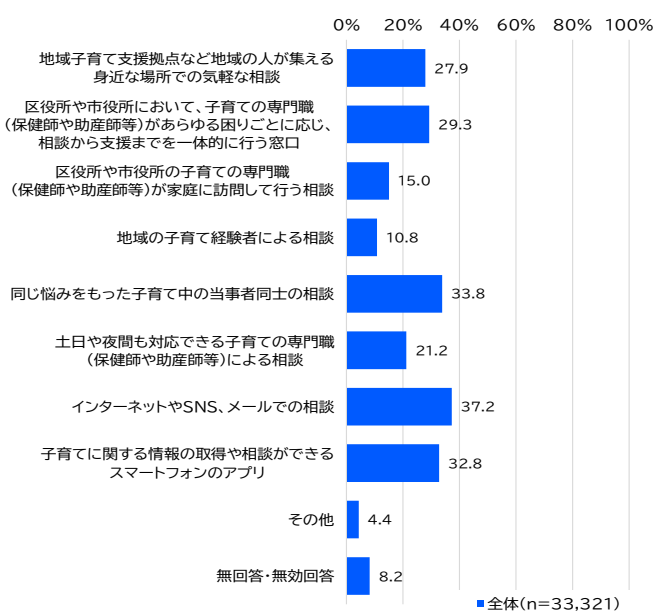
【問31】現在、子育てをしていて感じている困りごとは何ですか。(複数回答)



(オ) どのような相談先があれば相談しやすいか

「インターネットや SNS、メールでの相談」が37.2%と最も多く、「同じ悩みをもった子育て中の当事者同士の相談」が33.8%、「子育てに関する情報の取得や相談ができるスマートフォンのアプリ」が32.8%。

【問32】子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、どのような相談先があれば相談しやすいですか。(複数回答)



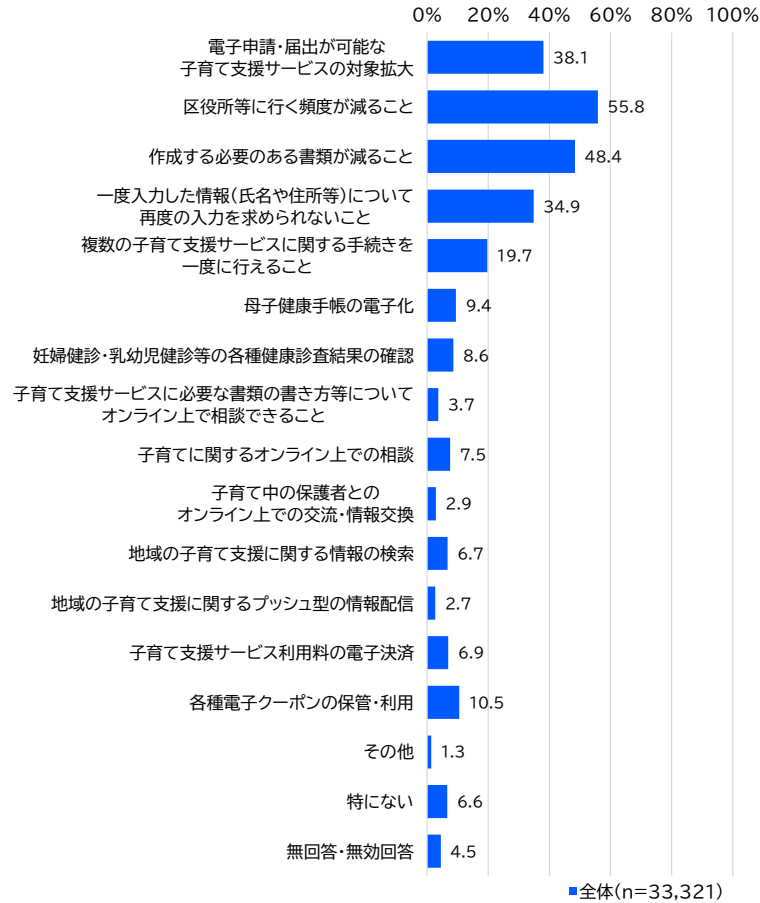


(カ) 今後の子育て支援の電子化に期待すること

「区役所等に行く頻度が減ること」が 55.8%と最も多く、「作成する必要がある書類が減ること」が 48.4%、「電子申請・届出が可能な子育て支援サービスの対象拡大」が 38.1%。

【問 38】 今後の子育て支援の電子化に関連して、期待することをお答えください。

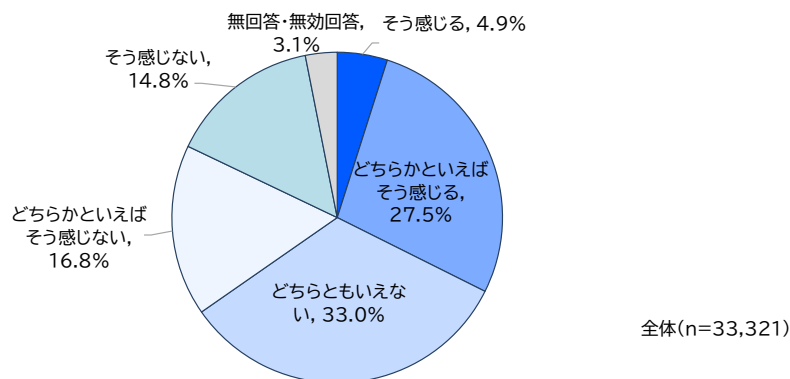
(3つまで複数回答)



(キ) 子育てをされていて地域社会から見守られている、支えられていると感じるか

「どちらともいえない」が 33.0%と最も多く、「どちらかといえばそう感じる」が 27.5%、「どちらかといえばそう感じない」が 16.8%。

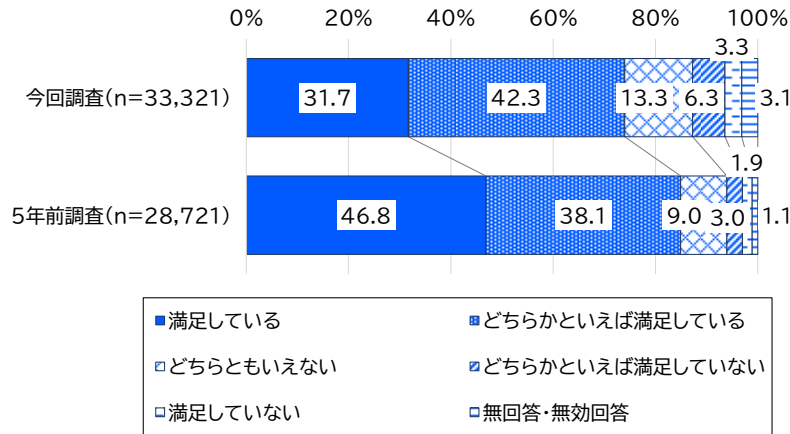
【問 41】 子育てをされていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。



(ク) 現在の生活の満足度

「どちらかといえば満足している」が42.3%と最も多く、「満足している」が31.7%、「どちらともいえない」が13.3%。  
5年前と比較して、「満足している」または「どちらかかといえば満足している」と回答し方が減少。

【問 43】子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(単一回答)

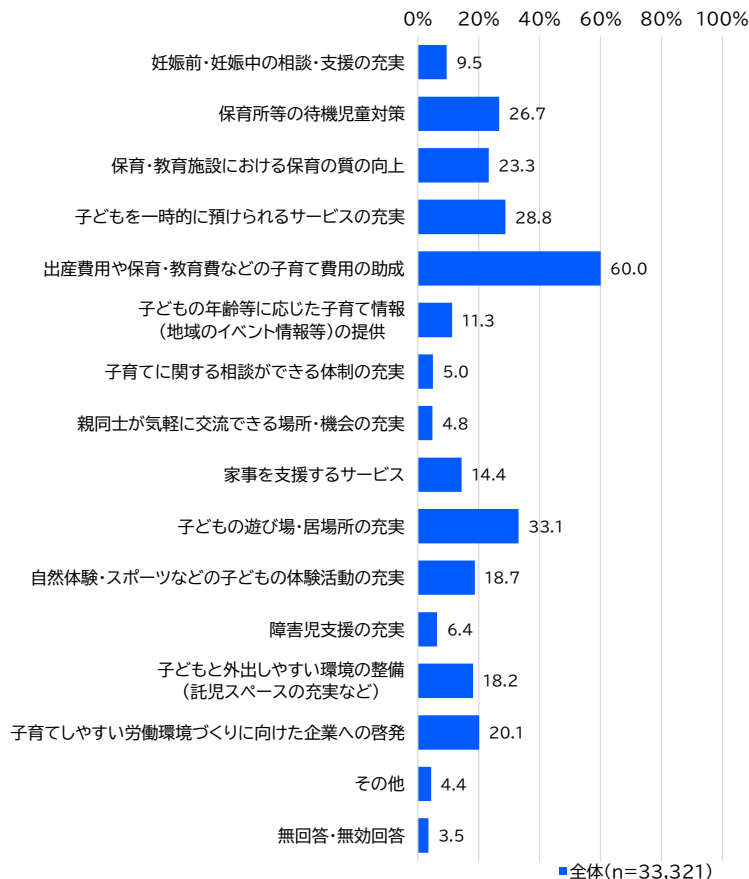


(ケ) 子育て支援の充実に向けて行政に望むこと

「出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成」が60.0%と最も多く、「子どもの遊び場・居場所の充実」が33.1%、「子どもを一時的に預けられるサービスの充実」が28.8%。  
属性別にみると、子どもの年齢が低い方で「保育所等の待機児童対策」、「出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成」が多い。

【問 45】今後、子育て支援の充実に向けて、行政にどのようなことを望みますか。

(3つまで複数回答)



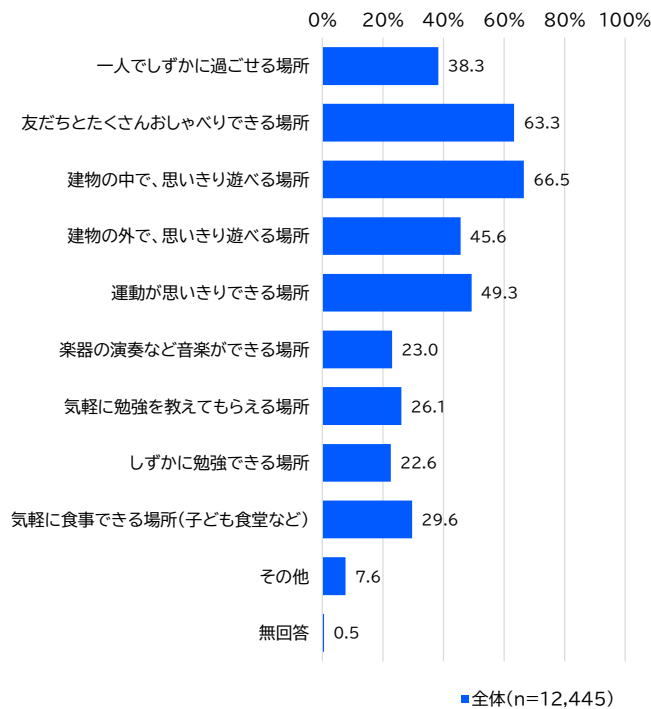
(2) 小学生調査

ア 小学4年生以上の子ども本人への質問

(ア) あったらいいなと思う場所

「建物の中で、思いきり遊べる場所」が66.5%と最も多く、「友だちとたくさんおしゃべりできる場所」が63.3%、「運動が思いきりできる場所」が49.3%。

【問2】あなたが、こんな場所があったらいいなと思う場所を教えてください。(複数回答)



(イ) 横浜市がどのようなまちになってほしいと思うか

「安全・安心なまち」が24.1%と最も多く、「みんなが助け合えるまち」が12.7%、「自然豊かなまち」が10.5%。

【問3】あなたは、横浜市がどのようなまちになってほしいと思いますか。

